

県道78号(御殿場大井) 道路改良事業

1. 事業の目的

本路線は、古くは足柄古道と呼ばれる関東と関西を結ぶ重要な街道として賑わい、現在も神奈川県と静岡県を結ぶ幹線道路として利用されています。

南足柄市矢倉沢地内の整備は、昭和60年(1985年)から平成17年(2005年)までに麓から相ノ川橋までの区間で完了していますが、相ノ川橋から静岡県境までの区間においては、急勾配と屈曲により車両のすれ違い困難な箇所が存在していることから、平成18年(2006年)より2車線の確保を目指した局部改良を進めています。

これまでに全4工区のうち3つの工区で整備が完了し、現在は静岡県境の4工区で事業を行っています。

2. 事業の概要

- 事業箇所： 南足柄市矢倉沢地内【位置図・平面図参照】
- 計画延長： 4工区 約200m (全4工区合計 約1,150m)
- 計画幅員： 7.0m (標準)【横断面図参照】

3. 現況写真

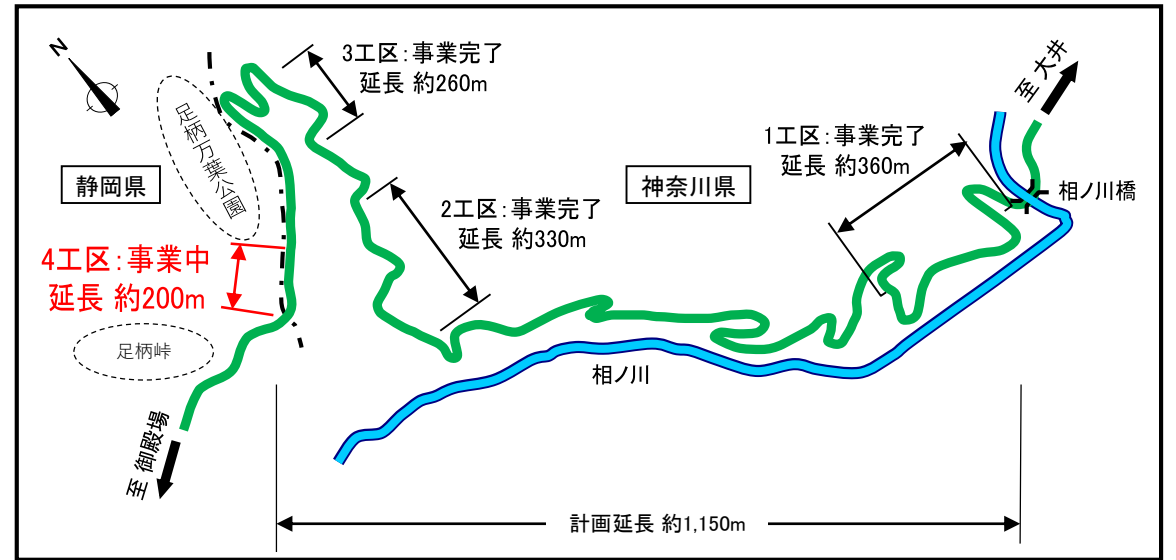


① 起点 (御殿場市側から望む)

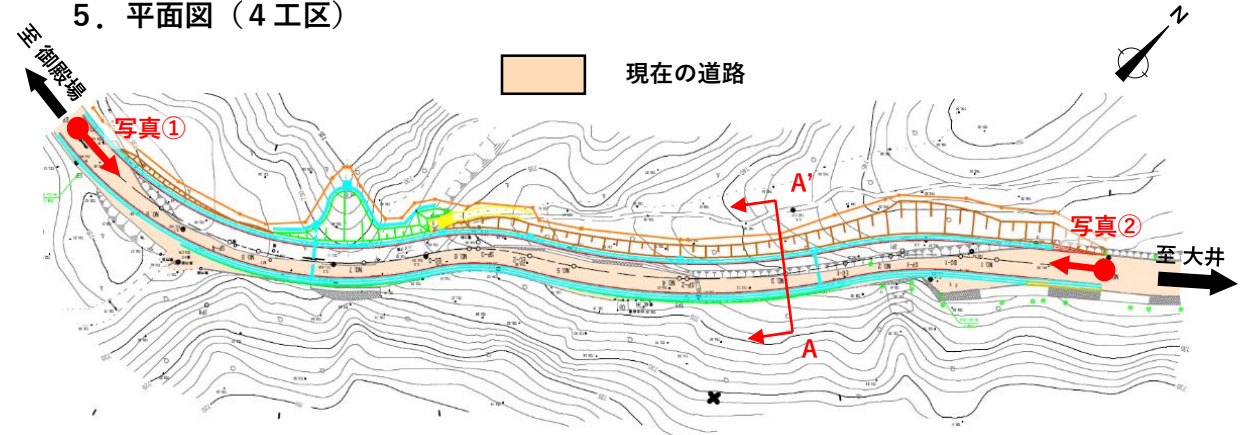


② 終点 (大井町側から望む)

4. 位置図



5. 平面図(4工区)



6. 横断面図(A-A'断面)

